

令和6年度 第1回 三郷市図書館及び視聴覚ライブラリー協議会会議録							
開催期日	令和6年6月19日(水) 10時00分						
閉会の日時	令和6年6月19日(水) 11時55分						
開催場所	三郷市役所7階 農業委員会議室						
出席状況	委員 10名中 9名 事務局 9名 傍聴 0名						
主な議題	(議題1)令和5年度事業報告について						
	(議題2)図書館運営基本方針及び令和6年度重点目標について						
	(議題3)令和6年度事業計画(案)について						
	(議題4)「日本一の読書のまち三郷推進計画」進捗状況について						
	(議題5)その他:図書館新システム・ホームページ紹介						
席次番号	委員氏名	摘要	席次番号	委員氏名	摘要		
1	加藤 真理子	出・欠	11		出・欠		
2	中川 進	出・欠	12		出・欠		
3	武藤 彩花	出・欠	13		出・欠		
4	今 友美	出・欠	14		出・欠		
5	古賀 智子	出・欠	15		出・欠		
6	田口 啓子	出・欠	16		出・欠		
7	山上 礼子	出・欠	17		出・欠		
8	横井 直美	出・欠	18		出・欠		
9	福田 誠治	出・欠	19		出・欠		
10	土屋 かおり	出・欠	20		出・欠		
事務局出席者名							
教育長	大塚 正樹	生涯学習部 部長	梅澤 十三男	日本一の読書の まち推進課長	園田 久美子	日本一の読書のま ち推進課企画推 進係長	染谷 将隆
市立図書館長	木村 雅也	早稲田図書館長	三國 博子	北部図書館長	染谷 篤仁	北部図書館 専門員	牧原 祥子
生涯学習課生涯 学習係主事	荒井 真帆						
会議の概要または特記事項							

審議の概要

会議名	令和6年度第1回三郷市図書館及び視聴覚ライブラリー協議会
議事	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 司会・進行 染谷北部図書館長 2. 委嘱書の交付（出席委員） 3. 教育長あいさつ 大塚教育長 4. 委員紹介 5. 職員紹介 6. 会長及び副会長の選出 協議会規則第3条第1項により会長・副会長を互選。 他の委員の承認により決定。 会長・福田委員 副会長：中川委員 ※新会長あいさつ
福田会長	7. 議事（議事進行：福田会長）
事務局	<p>《議題1》令和5年度事業報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館の利用状況、各館事業の説明、3館合同事業について (令和5年度図書館事業報告・利用統計 資料1-1、資料1-2参照) ・企画推進係の読書推進の取り組みについて (令和5年度企画推進係事業報告 資料1-1参照) ・視聴覚ライブラリーの利用状況について (視聴覚ライブラリーについて 資料3-3参照)
横井委員	視聴覚ライブラリーを利用している団体はどのような団体か。
事務局	子ども会、サッカークラブ、幼稚園、PTA等。教材だけではなく、プロジェクター、スクリーン、アンプの貸出しも行っている。
中川副会長	<p>ふれあい文庫や、ふれあいブックワゴンの活動が広がっているのが分かった。ブックワゴンの増車や、絵本セットの貸出制限の撤廃というところに成果が表れていると感じる。</p> <p>ふれあいブックサポーターや子ども司書の活動がかなり増えている。本を置く場所が広がっているだけではなく、そこに関わる大人と子どもを市が仲介し増やしていくことで、その人たちを媒介にして、市民のかたに取り組み内容が広がるだろう。</p> <p>企画するのは大変だと思うが、直接的なアプローチだけではなく、間接的にも活動が広がっていくアプローチを期待する。それが、この後の報告にもある数値の向上にも表れていくだろうし、読書をすることで文化が高まる要因になっていくのだろうと思う。</p>
事務局	<p>《議題2》図書館運営基本方針及び令和6年度重点目標について (資料2参照)</p> <p>《議題3》令和6年度事業計画（案）について (資料3-1、資料3-2参照)</p>
横井委員	<p>図書館外に出て、普段図書館に行かない高齢者のところも訪問していることは良いと思った。</p> <p>市のメール配信サービスで情報を発信してもらえると、多数の人の目に触れ周知されるので良い。</p> <p>桜小に講談社のブックキャラバンが来校した。子どもたちはとても喜んでいと聞いている。校長からもこんなに子どもたちは本が好</p>

		きだということを再確認したとの話を伺った。
田口委員		以前、読み聞かせに関する講演を聞いたときに、読み聞かせの可能性を感じ、活動を始めるきっかけとなった。ご家庭の親御さんを対象とした読み聞かせの良さを伝える機会を市の方で設けてもらえる、良い効果が出ると思う。 学校で読み聞かせのボランティア活動を行っているが、担い手が減っている。講演会に参加することで、まずはご家庭で読み聞かせを行うきっかけづくりにもなると思う。
事務局		令和6年10月に予定しているふれあいブックサポーター対象の講演会では、一般からも広く参加を募りたいと考えている。本の魅力について知る内容の講演会となり、読み聞かせとは主旨が異なるが、多くの方にぜひ参加してもらいたい。 また、11月には、現在読書ボランティアをされているかたや、これから活動したいかたを対象に読み聞かせのコツをお伝えする講座を予定している。
田口委員		講座を受講するとボランティア活動をしなくてはいけない、と構えてしまうかたもいらっしゃると思う。読み聞かせをご家庭で気軽にできるきっかけづくりとなるような会があると良い。
事務局		これから、そのような機会も設けてまいりたい。 今年度は、親子を対象とした、ご家庭でできるわらべうたと絵本の良さを学べる『わらべうた講座』も企画している。また、子育て支援センターを会場に、小さいお子様がいらっしゃる保護者を対象とした、図書館司書による絵本講座の予定もある。改めて周知とご報告ができたらと思う。
武藤委員		講師のかたに小学校にも来ていただけるとありがたい。新和小は児童数が多く、熱心な保護者も多い。呼びかければ多数参加者があると思う。担任としても読み聞かせが大切なことは分かるが、方法やコツがわからないので、身近で講座が開催されると良い。
福田会長		小中学校の教科書を見るとわかるが、知識が細切れになっていて、長いストーリーを追うようにはなっていない。文学は背景があって、そのつながりで全体で何を伝えているかを読むもの。小さい子どもの方がつながりで覚えていて、言葉に分解するのはあとから。高齢になっても、長文を読んで読解力が高くなれば、日常生活でも相手の話の背景を理解でき、詐欺の被害も減るのではないか。
事務局		《議題4》「日本一の読書のまち三郷推進計画」進捗状況について (資料4参照)
事務局		《議題5》その他 図書館新システム（ホームページ）紹介
中川副会長		8. 閉会（閉会の辞：中川副会長）